



利南東



【TONAMIプライド】じぶんのいいところ・ともだちのいいところ・がっこうのいいところ・となみのいいところ

令和4年度学校だより

令和4年7月11日

第7号

校長 大竹 敏之

■ 今年の学校評価についてお知らせします < Part 1 >

最上位目標である「学校教育目標（目指す児童像）」を実現するための具体的な目標と方策をお知らせします。保護者の皆様には、後日ご協力いただく「学校評価アンケート」でご意見を伺い、いただいた評価を基にしてよりよい教育活動に改善したいと考えております。まずは、今年の具体的な取組をご確認ください。

具体目標1 保護者と連携して教育活動に取り組みます

◆方策◆

- ・学校便りや学級通信等の工夫をする。
- ・欠席や早退の時、子供の様子に変化がある時は、連絡帳や電話連絡、家庭訪問等を通して相互の連絡を密にする。
- ・保護者が学校に連絡・相談をしやすい環境づくりや情報発信の工夫を行う。



【参考：アンケート評価目安】

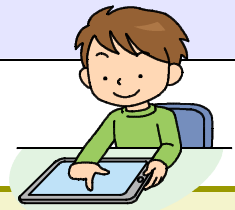
<保> 「子どものことを学校に相談しやすい」 80%以上

<保> 「学校は日頃から子どものよさを伝えたり連絡や働きかけを丁寧に行ったりしている」 80%以上

具体目標2 児童に基礎的・基本的な知識・技能を定着させます

◆方策◆

- ・ねらいを達成した児童の具体的な姿を想定し、学習活動を意図的に設定する。
- ・授業の始めに、めあてを提示し、最後はめあてに沿って振り返らせ、何を、どのように学んだかを自覚させる。
- ・特別支援教育専門アドバイザーの巡回相談等を活用し、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導の工夫をする。
- ・高学年は教科担当制を取り入れ、学力の向上を図る。
- ・漢字計算コンテストやスキル学習を行う。



【参考：アンケート評価目安】

<児・保> 「学習内容がわかる、理解できている」 80%以上

具体目標3 児童の思考力・判断力・表現力を育てます

◆方策◆

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「はばたくぐんまの指導プランⅡ」等を参考に授業改善に努める。
- ・児童が自分の考えを持ち、考えを相手に分かりやすく伝えられるように、発問の工夫や、自力解決や集団交流の指導の工夫を行う。

【参考：アンケート評価目安】

<児> 「授業で自分の考えをもったり伝え合ったり考えを深めたりしている」 80%以上

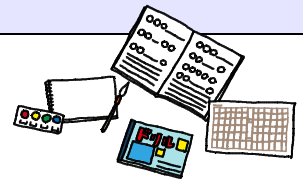
具体目標4 児童に学習習慣を定着させます

◆方策◆

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、学習や読書の習慣を身につけさせる。
- ・取組のよかった児童を賞賛するなど「家庭学習チャレンジカード」を効果的に活用し、家庭と連携して家庭学習の充実を図る。

【参考：アンケート評価目安】

- <児・保> 「家庭学習を1日10分×学年数以上行っている」80%以上
- <児・保> 「学校や家庭で読書をしている」80%以上



具体目標5 児童が学校生活の決まりを守れるようにします

◆方策◆

- ・教員が率先したあいさつと家庭や地域での挨拶の奨励をする。
- ・生徒指導委員会で学校のルールについての共通理解を図り、礼儀・規範意識を高めることを指導の重点として取り組む。
- ・朝の会でルールを確認したり、帰りの会で振り返ったりする場を設ける。
- ・道徳や学級活動、日常生活の中で社会的なルールや学校の決まりや新しい生活様式について必要性に気づかせ、児童主体の実践をさせる。

【参考：アンケート評価目安】

- <児・保・教> 「すすんであいさつをしている」80%以上
- <児・教> 「学校のきまりや約束を守って生活している」80%以上

具体目標6 児童の自尊感情・自己肯定感・自己有用感を高めます



◆方策◆

- ・学年学級経営や教科指導、その他の全教育課程において、児童の活躍する場面や認め合う場面を意図的に設定する。
- ・「よいところさがしの木」の活動に全校で取り組む。
- ・通級指導や特別支援教育専門アドバイザーによる巡回相談等の活用により、特別支援の必要な児童への支援を充実させ、自尊感情を高める。

【参考：アンケート評価目安】

- <児> 「自分にはよいところがある」80%以上

具体目標7 児童が温かい人間関係を築けるようにします

◆方策◆

- ・「考え議論する道徳」の実践や望ましい人間関係づくりに配慮した学級経営を進める。
- ・児童主体の全校縦割り団活動やいじめ防止活動、あいさつ運動を充実させ、異学年の交流を図る。
- ・道徳、学級活動や日常的な教育活動の中で、思いやりのある行動を奨励する。
- ・スクールカウンセラーの活用により、教育相談の改善と充実を図る。
- ・悩みアンケートによるいじめの早期発見と早期対応に取り組む。

【参考：アンケート評価目安】

- <児・保> 「友達と仲良く助け合って生活している」80%以上
- <児・保> 「学校はいじめの予防や解消に努めている」80%以上
- <児> 「困っていることがあるとき、先生は相談にのってくれる」80%以上



★以降は次号のPart2でお知らせします